

図書館においてある本の中から
おすすめの本をピックアップ。
バラエティに富んだ本を紹介いたします。

どんぐりむらのどんぐりえん

なかや みわ 作



どんぐりむらのどんぐりえん
の子どもたちは、近頃とてもは
りきっています。もうすぐ年に
1度のお店屋さんまつりがある
のです。

町立 鷹巣図書館
TEL0996-86-1111

町立 指江図書館
TEL0996-88-6500

ダイエット外来の寝るだけ
ダイエット

佐藤 桂子 著



ぐっすり眠るだけでキレイに
痩せる！体を「痩せモード」に
する正しい睡眠のとり方を紹介
します。

Pick Up publication

長島 文芸

Nagashima Bungei
ながしまぶんげい

明神俳句会

色鳥や子に読み聞かすアンデルセン 淵脇 護

類染むる我が身に似たり酔芙蓉 中橋 藤七

指揮棒に色なき風の従へり 竹内 功

ねぎらひの色とも思ふ大夕焼 迫口 君代

たをやかに舞のお披露目こぼれ秋 関 佳代美

葛かずら法面に貼る千枚石 筑前 初市

秋夜長足踏みミシン動き出す 大堂 早苗

捨て神と畏るる古墳いわし雲 二階堂妙子

木犀やほのかに香るやさしさよ 二階堂恵子

寝返りの嬰と目が合ふ秋うらら 山寄加代子

頬杖に亡き母思ふ秋の暮 坂口 静子

芋畑天草超しに普賢岳 大堂 正弘

長島短歌会

通夜の席が今日より明日に替わる刻出づれば清し
十三夜月 岩下 ち江

秋深む山峡ゆけばとりどりの木樹の紅葉が谷間に
枝垂る 岩下 房代

宙を蹴り流木の天馬飛躍せり造形美展に夢限りな
し 榎平 頼子

暮れてゆく庭を駆けあぐる孫二人心の愁ひ罪と思へ
り 米尾 和子

肩に伝ふ手の温もりに目覚めたり逝きし夫と息子
想ほゆ 坂之下典子

庭隅の息子が植糸にし金木犀一年にして花咲き句
ふ 中山タマエ

真向ひの海穏やかに夕映えて天草灘は茜に染まる
浜田美代子

手を取りし吾に給ひし師の言葉忘れ難しも終の
御声の 浜畑 松枝

山頂に六メートル余の巨石あり神籠石とぞ里人は
言ふ 林 ヒロ

庭先に繭の実赤く彩れば鴨密かに食ひ初めをり
本田 幸子

背に負ふは母親ならん駅ホームに立つ青年の物腰
やさし 松元 睦子

笑ひつつ澁刺運動せし友と会話楽しみ傍去り難し
市尾 操

一般作品

「短歌」
納ぜんの花みつすつた小鳥たちなき声残しわが家
はなごみ 中仮屋辰子

母逝きて帰る古里遠くとも「広報ながしま」絆を
保ち 天地 雪舞

年終るあつと思ふまに過ぎ去りし思い出来ずと年
取なるや 町田 末則

職退きて通ひし店にも別れ告げほる酔ひたれば邯
鄲の夢 平木 良雄

「俳句」
冬の陽の物あたたむる如照り渡る 宗方 清明